

本県へのカジノ導入の検討に関する今後の方向性について (事務局案)

まとめ

- ・国際空港都市としての魅力アップ策のひとつとして、本県へのカジノ導入について 検討を進めることとする。
- ・今後は、国の動向を踏まえながら、まず、“空港周辺での外国人専用カジノ”を中心に、形態や成立可能性について、検討の深度化を図ることとしたい。

1 これまでの成田空港緊急戦略プロジェクト会議での意見交換について

- ・諸外国では、観光開発や失業対策、税収確保などの目的のもと、カジノを合法化しており、すでに世界100カ国以上でカジノ導入されている。
- ・我が国でも、本年4月にカジノ合法化法案の成立を目指す“国際観光産業振興議員連盟”が発足するなど、各所で議論が行われているところ。
- ・本プロジェクト会議では、第4回会議においてカジノ導入について意見交換してきた。その中で、多くの委員から“カジノ導入は検討の時期に来ている”との意見が出されたところである。

※一部委員からは、空港周辺の産業集積が未熟な現時点では時期尚早との意見も出されている。

2 カジノ形態について

- ・本会議では、カジノ導入形態についても意見交換したところであり、“空港周辺に外国人専用カジノ”という形態は、一つのアイデアとして成立するものと考えられる。一方、外国人専用では採算性に疑問があるなど、形態については様々な考え方がある。
- ・諸外国でもカジノの導入形態は様々。カジノが地域に果たすべき役割により、その形態は大きく変わることが諸外国の状況を見ても明らかである。

3 懸念事項への対処／地域住民の理解について

- ・カジノ導入には、①治安・風紀の乱れ、②ギャンブル依存症、③青少年への影響など、解決しなくてはならない懸念事項が多くある。
- ・会議委員からは、“地域住民の理解を得て検討を進めるべき”との意見が寄せられたところ。
- ・検討を具体的に進める際は、懸念事項の解決を図ることはもとより、具体案に対する地域住民の意向を把握・地域住民の理解を得る必要がある。

4 今後の検討の方向性について

(1) カジノ導入検討の是非について

諸外国では、“カジノ”導入は、都市機能拡充（都市型エンタテインメントの提供）といった観点や、新たな観光資源の供給という観点など、様々な目的から、多くの国でカジノ導入が行われている。

我が国でも、一部で“カジノ導入”に向けた議論が行われており、本県でも、国際空港都市としての魅力アップ（羽田空港との差別化）という観点から、カジノ導入について検討を進めていくこととしたい。

(2) 検討の方向性／手法について

カジノ検討に際しては、“国際空港都市としての魅力アップ”という観点ではどのような形態が望ましいのか、更に検討が必要である。

今後は、国の動向を踏まえながら、事務局（県庁内）で、他国の導入例や文献調査・関係者へのヒアリングなどを行い、まずは、アイデアとして成立すると考えられる“成田空港周辺に外国人専用カジノ”を中心に、カジノ形態の方向性やその成立可能性について研究していくことと、検討の深度化を図ることとしたい。